

一章【オホ声】オホ声性処理委員会 3500文字

【音声方向…正面】

ねえあの子じゃない？やっぱりそうだ 発見！ おほお・すっごい性欲値……♡

ええ、会長。性欲係数が500を超えています。かなり驚異的な数値です。
これまでにこんな値を見たことはありません。

ちよっと、その君！ そのまま止まって！

ねえ、聖羅。見間違いじゃないよね？ もう一度計測してみて。

何度やっても同じですね。

性欲係数は540。

完全に異常性欲の持ち主です。

ついに見つけたね！ まさか実在するなんてね！

ふふふ、これはあたし達が責任もって搾り取ってあげないとねえ♡

うん？ あたし達？ 君は聞いたことないかな。あたし達はオホ声性処理委員会♡

つい先日、校内の性犯罪をゼロにするべく設立された委員会です。

この性欲計測器によって引っかけた、異常性欲の男子を拘束し、精子を搾り取り、更生させることを目的としています。

そーゆーこと♡

で、校内を歩き回りながら、各生徒の性欲係数を計っていたら……

君を見つけた、っていうわけ！

あなたの性欲係数は540。300超えて異常性欲とみなされるなかで、この数値は恐ろしく高いものです。それこそ歴史に名を残す凶悪な性犯罪者と同等のレベルです。

いやー、活動開始してから、なかなか引かかる子がなくてさ、これはもしかして異常性欲の子なんていないんじゃないかな……って思っていたところで、君に出会えたんだ♡

さ、こちらへ。異常性欲の男子は、別室にて精子を搾り取ることとなっています。

君が他の生徒に悪さを働くことがないよう、委員長のアたしと、この副委員長の聖羅とで、

しつかり、たっぷり相手させてもらうからね♪ 覚悟していてよ♡

【別室へ移動…3秒の間】

【音声方向…正面】

はーい、そうしたら、そのベッドに横になってね♡

大丈夫、大丈夫♡ そんな不安そうな顔しないで♡

君はただおとなしく、これからあたし達の言うことに従ってればいいんだから♡

服は脱がなくて結構です。私達のほうで、衣服は剥ぎ取りますので。

あなたは全て、私達に身を委ねていただければ結構ですよ。

【主人公、ベッドの上に仰向けに寝る…3秒の間】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

じゃあまずは君のオチンポがどれほど凶悪か確かめさせてもらうよ♡

よいしょ……ズボンを脱がせるね……

ふふふ、すごい、ズボンの上からでもわかるくらいに、もうビンビンに大きくなってる♡

これ、ズボンを下ろしたら、どんな感じになるのかな……♡

ひゃあん♡ はち切れてきたあ♡

すごいよ、聖羅、見て♡ 見て♡

あたしがズボンを下ろした瞬間、パンツの中から、オチンポが飛び出してきたよ♡

さすが、性欲係数が500超えだけあって、もうパンパンにポッキして……

……これは、私達も相当覚悟を持って臨まないと、押し負けてしまいますね……。

ふふ、もう君もすっかり出来上がっているようだし、パンツは下ろさないで、このまま素股で君のオチンポの強さを確認するね♡

あたしのほうは、パンツを脱いで……っと……よし、準備完了♡

私のオマンコ超エロいでしょ……

オホ声性処理委員会の私たちも性欲係数300オーバーの

ドスケベモンスターですから……

目には目を……ドスケベにはドスケベにを……ということですよ

ふふ、どっちのドスケベが勝つか？

そしたら、上に乗っかるよー♡
うんしょっと♡

おっ……ほお……ふふふ、すごいね、君のオチンポ♡
火傷しちゃうそうなほど熱を帯びているよ♡
あたしのオマンコの中も、熱くなってきちゃう♡
じゃあ、素股でゴシゴシこするからね♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】
それでは、横から失礼します。

会長が素股をされている間、私は、あなたの乳首を舐めさせてもらいますね。
シャツを脱がせます……

ああ、たくましい肉体が露わに……♡
それに綺麗な乳首……♡
とても舐め甲斐がありそうです♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】
んしょ♡ よいしょ♡ どう？ 気持ちいい？ 私の素股、思う存分味わってね♡
はうん……あふ……んん……く……おほっ♡ ほっ♡ ほっ♡ おっほお♡
硬くて♡ たくましくて♡ すごいオチンポ♡
おっ♡ おほっ♡ おっ♡ おっ♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】
ふふふ、会長ってば、夢中になって腰を振ってますね♡
では、私も……♡

ん……ちゅば……くちゅ……れろ……れろ……れろ……ちゅば……ちゅ……
ちゅう……じゅる……じゅ……じゅぞど……じゅぷ……ちゅる……ちゅ……
ちゅ……じゅるる……じゅぷ……れろ……れろ……れろ……れろ……

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】
あっはああん♡ 聖羅が乳首責め始めた途端、君のオチンポ、ますます硬くなってきた♡
もしかして興奮しちゃったの？♡ そうなんでしょ♡
聖羅の乳首責めは、これまで受けて男子達、みんな気持ち良かった、って言ってるもの♡

品質は保証するよ♡

おほお♡ ほっ♡ ほっ♡ おほっ♡ おん♡ おん♡ おおん♡ おほっ♡ ほっ♡
お♡ お♡ お♡ おっほお♡ おほっ♡ お♡ おうん♡ おん♡ おん♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

ちゅば……ちゅば……ちゅる……ちゅるう……ちゅ……ちゅ……ちゅぞぞ……
れろ……れろ……れろ……じゅば……じゅば……じゅ……じゅ……じゅじゅじゅ……
じゅる……じゅ……じゅるる……ちゅろ……ちゅろ……ちゅ……ちゅ……ちゅ……

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

はああん♡ アソコがゴシゴシこすれて、気持ちいい♡
君のオチンポ、ガッチガチに硬いから、私の気持ちいいところにあたって最高♡
おほおおん♡ ほん♡ ほん♡ おほ♡ お♡ おほ♡ お♡ んっふうう♡
ほうう♡ おう♡ おう♡ おう♡ おおん♡ おん♡ おん♡ おっほお♡
ほ♡ ほ♡ おほ♡ お♡ お♡ おほ♡ お♡ おお♡ おほお♡ お♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

れろ……れろ……
ふふふ、乳首も、ビンビンに立っていますね……そんなに興奮してるんですか……？
可愛いですね……♡
責めがいがあるというものです……♡

かり……かり……かり……かり……

あむ……ちゅ……ちゅろろ……ちゅうう……ちゅる……ちゅる……ちゅ……ちゅ……
ちゅば……ちゅば……ちゅぶ……ちゅぶ……じゅ……じゅぶ……じゅぞぞ……じゅ……
れろ……れろ……れろ……ちゅば……ちゅ……ちゅ……ちゅうう……ちゅ……

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

おほっ♡ ほんっ♡
アソコが♡ 熱い♡ 君の立派なオチンポで♡ こすられる度に♡
オマンコの中から♡ 熱いお汁が♡ 溢れてきちゃう♡
ほら、見てえ♡ わかるかな♡ 君の我慢汁と私の愛液がまじってヌルヌルしてとてもえ
っ♡♡おっ♡

君のオチンポがもっと欲しい、もっと欲しいって、オマンコが訴えてるんだよ
おっ♡

これは本当に凶悪なオチンポね♡一般生徒じゃとても太刀打ちできないっ♡
おっほおん♡ ほん♡ おん♡ おん♡ おほ♡ ほ♡ ほ♡ おふっ♡ ほ♡
おおん♡ お♡ お♡ お♡ おほお♡ ほ♡ ほ♡ おほお♡ おっ♡
おう♡ おう♡ お♡ お♡ おん♡ おん♡ おふう♡ おふ♡ ほう♡ おふう♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

かり・・・かり・・・かり・・・くり・・・くり・・・
じゅる……じゅる……じゅば……じゅ……じゅるる……じゅ……じゅろ……じゅう……
じゅ……じゅ……れろ……れろ……れろ……じゅば……じゅば……じゅば……ちゅるる……ちゅ……
ちゅろろ……ちゅ……ちゅば……ちゅば……ちゅば……ぴちゃ……ぴちゃ……ちゅ……ちゅ……

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

あん♡ うそ……♡おっ♡ だんだん、気分が高まってきて……♡
あたし……♡ このままだと……♡ 先にイッちゃうう……♡
この私が先にいかされるなんて・・・ありえない・・・っ♡おっ♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

ちゅる……ちゅる……れろ……

ふふふ、会長、すごく可愛い声が出ていますよ……♡

そのまま素股でイッてしまうんではないですか……？♡

れろ……れろ……れろ……

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

おほ♡ おほ♡ おほ♡ お♡ お♡ お♡ お♡ おん♡ おん♡ おん♡ おん♡
お♡ お♡ お♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡
おふ♡ おふ♡ おふ♡ おふう♡ おほ♡ おほ♡ おほ♡ おほ♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

ちゅば……ちゅば……ちゅ……ちゅ……ちゅ……れろ……れろ……ちゅる……ちゅ……

ちゅろろ……ちゅ……ちゅ……ちゅぷ……ちゅ……れろ……れろ……れろ……れろ……
ぴちゃ……ぴちゃ……ぴちゃ……ぴちゃ……

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

んっ絶対先にイかせてやるんだから・・あっ
おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！ おん！ おん！ おん！ おん！
お！ お！ お！ お！ お！ お！ お！ お！ お！ お！ お！ お！ お！
おんっ！ おんっ！ おんっ！ おんっ！

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

ぺろ……ぺろ……

ああ、会長が、顔を真っ赤にして……♡ 汗もいっぱい流して……♡
もうイキそうになってますね……♡
すごいです……♡ いつもは会長の素股で男子が先にイクのに……♡
さすが異常性欲の持ち主……♡
ぺろ……♡ ぴちゃ……♡ ぺろ……♡ じゅる……♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

お！ おほお！ おん！ おん！ おほ！ おほお！
来る！ 来てるう！ 体の奥から！ 熱いのがあ！ こみ上げてくるう！
らめ！ らめ！ らめええ！ あたし！ もう！ イク！ イッちゃうう！
おっほお！ おほ！ おん！ おん！ おん！ お！ お！ おっほお！ お！
おうう！ おん！ ほ！ ほ！ おほ！ お！ お！ お！ おほ！ おほ！ お！
おふ！ おふ！ おふ！ おふうう！
イ！ イクううううう！
おっほおおおおおおおお♡
ふー……ふー……♡
ああ……♡ 気持ち良かった……♡
それにしても、まさか、このあたしが素股だけで先にイカされちゃうなんてね♡
中に入れたら……どれほど……ふふっ♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

ふふ

チンポをイカせる前に、会長のオマンコが先にイッてしまうなんて、信じられないです。これが、異常性欲というもののですね。私もはやく試してみたいですね・・・

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

そういうことね……♡

だから、異常性欲の持ち主のチンポは、あらゆる女子の身も心も虜にしてしまう……

彼がその気になれば、全校の女子生徒達を性奴隷にすることだって可能よ……

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

とんでもないポテンシャルの持ち主ですね……

どうされますか、会長？

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

予定通りに進めるしかないでしょ♡

こうなったら、他の女子生徒に被害が及ぶ前に……

あたしたちがしっかりと君の精子を搾り取ってあげないといけないね♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

んん……くふうう……うん……

会長……私……その……

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

どうしたの、聖羅？ モジモジして。

なんだか目も潤んでるし、すぐエッチな顔してるよ。

言いたいことがあったら、いいよ、遠慮なく言いなよ。

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

あの、会長……私、もう我慢できません……♡

この凶悪チンポを目の前に突きつけられていたせいで、愛液でパンツがびしょびしょになっちゃっています……♡

ほら、見てください……♡ 私のパンツ……♡ お股のところ……♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

本当だ、パンツがぐっしり湿ってるね♡

ふふチンポ見てるだけで、発情するなんて

さすが副会長

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

ふふふ、性処理委員会の掟に則って、異常性欲を計測したあなたのオチンポ、しつぽり搾り取ってあげますね……♡

会長はこの子が暴れないように、彼の両手を掴んでいてください。

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

もー、しょうがないなあ。搾りすぎて、枯らさないでよ♡

あんたの杭打ち騎乗位ピストン、ハンパないんだから♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】
善処します……♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】
じゃあ、交代ね。あたしはどくから、今度は聖羅が上に乗ってちょうだい。

【二人、位置を入れ替え】

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】
はい……♡

それでは、またがりますね♡

んしょ……ん……ああ、すごい太くて、硬い……なんて立派なおチンポなんでしょう♡
挿入する前から私のオマンコ期待して悦んでる……

それでは、オマンコの中に……入れますね……

おほっ♡ おっ♡ おほっ♡ おおおん♡

これは、すごいです♡ はち切れそうなほど、たくましいおチンポ♡

会長が素股でイカされてしまったのも、よくわかるくらい、凶悪です♡

さすが性欲係数500超えですね♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

ふふふ、聖羅ってば、もう気持ち良さそうな顔してる♡

まだおチンポを挿入したばかりだっていうのに♡

そうしたら、あたしは、この子の両手を押さえながら、耳をペロペロ舐めるようにするね。

さあ、始めよっか……♡

ぺろ……ぺろ……ぴちゃ……ぴちゃ……じゅる……じゅぶ……じゅぼ……じゅ……

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

私も、腰を動かしますね♡

おっ♡ ほっ♡ おおう♡ ううん♡ おんっ♡ おっ♡

オチンポがあ♡ オマンコを掻き回してえ♡ アソコからグチュグチュ音が鳴ってる♡
腰がガクガクってえ♡力入らない♡おっ♡

これが、性欲係数500超えの犯罪オチンポのすごさんですね♡
こんな危ないもの、放っておくわけにはいきませんね♡

いっぱいいっぱい、搾り取ってあげますね♡

おっほお♡ おほ♡ おほ♡ おん♡ おん♡ おおん♡ おん♡ おん♡

おほ♡ おほ♡ おっほお♡ おほお♡ お♡ お♡ お♡ お♡ おふう♡

おほっ♡ おほっ♡ ほっ♡ ほっ♡ おほっ♡ おほっ♡ お♡ お♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

ぺちゃ……ぴちゃ……じゅりゅりゅ……じゅ……じゅぽ……じゅぽ……じゅ……

じゅるん……じゅ……ぴちゃ……ぴちゃ……じゅ……じゅ……じゅ……じゅ……

ぺろ……ぺろ……ぺろ……じゅぽ……じゅぽ……じゅ……じゅ……じゅ……じゅ……

ふうう……君の目、すぐくトロンとしてきてるよ……♡

そんなに聖羅に騎乗位逆レイプされて、興奮しちゃってるの……？

いいね、その表情……見ていだけでゾクゾクしてきちゃう……♡

ちゅぽ……ちゅぽ……ちゅ……ちゅうう……じゅぞぞ……じゅ……じゅぽ……じゅぽ……

ちゅうう……れろ……れろ……れろ……れろ……ちゅぽ……ちゅぽ……ちゅ……ちゅ……

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

おほっ♡ おほっ♡ お♡ おおん♡ おう♡ おう♡ おう♡ おう♡

ほっ♡ ほっ♡ おっほお♡ おん♡ おおん♡ おふっ♡ ほふっ♡ ほふう♡

オチンポ♡ 大きすぎて♡ 膣が裂けちゃいそうです♡

奥にも♡ ズンズン♡ 当たってえ♡ 気持ちいいです♡

おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡

おん♡ おん♡ おん♡ おん♡ おほお♡ お♡ おおん♡ おほお♡

おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡

おほおお♡ おほ♡ お♡ おおん♡ おおおお♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

ちゅる……ちゅる……ちゅる……ちゅる……

じゅぞぞ……じゅぞ……じゅる……じゅろろ……

どう……？ 聖羅の騎乗位ピストン……♡

気持ち良くて、あつという間に昇天しちゃいそうでしょ……♡

これは聖羅の得意技の一つなんだ……♡

今まで耐えてこられた男子は一人もいなかったよ……♡

君もあんまり我慢しないで、出したくなったら、思う存分出しなよ……♡

ぺろ……♡ ぺろ……♡ ぺろ……♡ ぺろ……♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡

最高です♡ このオチンポ♡ 一日中でも続けられそうなほど、いいものです♡

んあああん♡ あん♡ あん♡ あん♡ あん♡ あん♡ あん♡

おほ♡ おほ♡ おほ♡ おほ♡ おほ♡ おほ♡

ほっ♡ ほっ♡ おぐう♡ おう♡ おうう♡ おうううん♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

あーあー……聖羅ってば、目的忘れて、腰振ることに夢中になっちゃってるよ……

これじゃあ、搾精の前に、自分が先にイッちゃうんじゃないかな……

ふふふ、でも、それもまた面白いかもね……♡

どちらにせよ、イク瞬間の、オマンコがキュウキュウに締まる感覚に、君がどこまで耐えら

れるか、だけどね……♡

すごいよお……♡ 聖羅のマン圧……♡

君のオチンポをしっかりと啜え込んで、とことん精液を搾り取ろうとするよ……♡

どう？ 想像したら、ますます興奮してきたでしょ……♡

ぺろ……♡ ぺろ……♡ ぺろ……♡ ぺろ……♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

おほっ♡ おほっ♡ おほっ♡ おほっ♡ おほっ♡ おん♡ おん♡

おほっ♡ おほっ♡ おっほお♡ おほお♡ お♡ お♡ お♡ おふうう♡

おほ♡ おほ♡ おほ♡ おほ♡ おん♡ おん♡ おん♡ おん♡

おとおおん♡

いいんですよ……♡ もっと、激しく腰を振っていただいても……♡

私のことは気にせず……♡ 乱暴に扱ってくれて、全然構わないですから……♡

おほっ♡ おほっ♡ おう♡ おうう♡ おほっ♡ おほお♡ ほっ♡ ほっ♡ ほっ♡

おん♡ おん♡ おん♡ おん♡ おん♡ おんっ♡ おほっ♡ おほっ♡ おほっ♡

おん♡ おん♡ おん♡ おん♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

ぺろ……♡ ペロ……♡ ペロ……♡ ペろ……♡
れろお……♡ れろお……♡ れろお……♡ れろお……♡
随分と、君の息も、荒くなってきたね……♡
そろそろ、絶頂を迎えそうになってきてるのかな……♡
そしたら、好きなだけ、聖羅の中に出しなよ……♡
精子を搾り取るのがあたし達委員会の仕事だから、ためらうことはないよ……♡
君の心の赴くままに……♡ いっぱいいっぱい、濃くてドロドロの精液……♡
膣の奥まで、ドピュドピュ出すといいよ……♡
はふうん……♡
れろ……♡ れろ……♡ れろ……♡ れろ……♡
ぴちゃ……♡ ぴちゃ……♡ ぴちゃ……♡ ぴちゃ……♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

お♡ お♡ お♡ お♡ お♡ お♡
おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡
ほん♡ おふん♡ ほおん♡ ほん♡ おふ♡ おふう♡ おふう♡
おほっ♡ おほっ♡ おほっ♡ おほっ♡
イキそうですか……♡？ イキそうなんです……♡？
いいですよ……♡ いくらでもイッてください……♡
私も……♡ イキそうになってきました……♡おっ♡
あなたのオチンポがとても立派だから……♡
もう、頭の中は、オチンポのことだけいっぱいです……♡
このドスケベチンポからは、どんな濃い精子が出るんでしょうか……♡
考えただけで、おまんこキュンキュンしてしまいます……♡
おほおお♡ おほ♡ おほ♡ おほ♡ おほ♡ おほ♡
おん♡ おん♡ おん♡ おん♡ おん♡ おん♡
はぐう♡ ひぐう♡
あなたのオチンポで押し広げられて、すっかり、あなたのおチンポ専用のオマンコの形に変
えられてしまいました♡
ふぐっ♡ う♡ うぐっ♡ おっ♡ おううん♡
おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡

お♡ お♡ お♡ お♡ お♡ お♡ お♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

それそれ……♡ どうしたの……？♡ 聖羅より先にイッちゃう……？♡
どっちが先にイクのかな……？♡
ふふふ、このセックス勝負、先の展開が読めないね……♡
ぺろ……♡ ペロ……♡ ぴちゃ……♡ ぴちゃ……♡
じゅる……♡ じゅる……♡ じゅる……♡ じゅる……♡
ぢゅぞぞ……♡ ぢゅぞぞ……♡ ぢゅ……♡ ぢゅ……♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

おん！ おん！ おん！ おん！
おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！
わ、私……♡ 頭の中が、ヒリヒリして……♡
ジンジンしてきて……♡
もう……♡ 私……♡ 私い……♡
おほお♡ おほお♡ ほう♡ おほおう♡ おう♡ おう♡ おおん♡ おん♡
おほっ♡ ほっ♡ おほっ♡ ほっ♡
負けてしまう♡あなたのオチンポに私のオマンコまけちゃう♡
お！ お！ お！ おお！ おん！ おおん！ おん！
おう！ おう！ おう！ おう！ おう！ おう！

【音声方向…左斜め前】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

お、これは、聖羅のほうが先にイキそうだね……！♡
そうしたら、しっかり最後まで責めて、思いきりイカせてあげて……♡
聖羅が先にイッちゃうなんて、今までになかったことだから……♡
きつとすごく喜ぶと思うよ……♡
れろ……♡ れろ……♡ れろ……♡ れろ……♡
ぴちゃ……♡ ぴちゃ……♡ ぴちゃ……♡ ぴちゃ……♡
じゅ……♡ じゅ……♡ じゅ……♡ じゅ……♡
ぢゅぞぞ……♡ ぢゅぞぞ……♡ ぢゅぞぞ……♡ ぢゅぞぞ……♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

おん！ おん！ おん！ おん！

おふっ！ おほっ！ おふっ！ おほっ！

お！ お！ お！ お！

だめ・止まって・おっ♡

おほっ！ おほっ！ おほっ！ おほっ！

お！ お！ お！ お！ お！ お！ お！

イグっ♡イグっ♡イグっ♡イグっ♡

おほおおおおおおおおおお……！

【音声方向…左斜め前】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

すごおい……♡ 聖羅が先にイッちゃった……♡

そら、君も♡ もう出しなよ♡

聖羅のオマンコに思いつきり中出しして、勝利宣言しちゃいな♡

ほら♡びゅーびゅーびゅーびゅー♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

あ！ あんああ♡

私の絶頂敗北オマンコに♡ 熱いドロドロザーメンがあ♡ いっぱい、注がれて……え♡

ああ私のオマンコ・完全にあなたのオチンポにはいぼくしてしまいました……あ♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

わお♡

聖羅のオマンコから、君の精液が溢れ出てきてるよ♡

ほらほら、見てみなよ♡

すごくエッチな眺めだよ♡

偉いね、よく聖羅の騎乗位ピストンに耐えられたね♡

最高のフィニッシュだったよ♡

聖羅も大満足なんじゃないかな♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

はい……♡ とても……♡ 今までで最高のセックスでした……♡

こんなに気持ち良かったのは初めてです……♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

それにしても、すごいね……♡

ドスケベな私たちに人がかりでやっと君を射精させられるなんてそれに

今イッたばかりだっていうのに、君のお精子袋……まだパンパンに張ってるよ♡
どれだけの精をその中に溜めこんでいるの？♡

ふふふ、そんなものを見せられちゃったら、興奮してきちゃうよ♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

ええ……もう早くも、また私のオマンコが、うずいてきました……♡

他の生徒たちにはこんなオチンポ勿体無い……

私たちで全て、搾り取ってしましましょう♡

三章 【オホ声】ダブル手マン&ダブルパイズリによる両耳密着オホ声 4100文字

【音声方向…左斜め前】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

あたしの、アソコ……すっかり熱くなっちゃてる……♡

あんなに激しい騎乗位セックスを見せられちゃうと、我慢出来なくなっちゃう……♡

ねえ、これって、君のせいだからね♡

だから責任取ってもらうよ♡

今度は、あたし達二人を同時に気持ち良くさせてちょうだい♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

それ、いい案ですね♡

一人ずつ交代しながら、も、じれったいですしね♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

そーゆーこと♡

あたし達が左右から挟むので……

君は両手で、あたし達のオマンコをいじり回してくれればいいよ♡
ダブル手マンだね♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

思いっきり私たちのドスケベオマンコ、あなたの手でぐちゅぐちゅに犯してください♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

さあ、そうしたら、聖羅……♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

ええ、彼をサンドイッチしましょうか……♡

【彩、場所を移動…主人公の左隣に寝る】

【聖羅、場所を移動…主人公の右隣に寝る】

【音声方向…左】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

ふふふ、よろしくね……♡ 頑張って、あたし達を気持ち良くさせてね……♡

【音声方向…右】

【距離感…密着（主人公の右耳）】

どうぞ、遠慮なく、私達のオマンコに手を伸ばしてください……♡

【音声方向…左】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

おん……♡ お……♡ 割れ目に沿って、指がめり込んでくるう……♡

【音声方向…右】

【距離感…密着（主人公の右耳）】

私も……穴の中に、中指が入ってきましたあ……♡

【音声方向…左】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

おほっ♡ おっ♡ おふうん♡ おおん♡ お♡ お♡ おおん♡ お♡
意外と……♡ やるね……♡ オチンポは凶悪でも……♡ そういうテクニクは……♡
そこまで無いかと思ってた……♡

【音声方向…右】（以降s反対の耳 反対のキャラのオホ喘ぎ）

【距離感…密着（主人公の右耳）】

はあん♡ 上手です♡ 愛液が溢れてきちゃいますう♡
おほっ♡ ほっ♡ おふっ♡ ほっ♡ おふうん♡ おん♡ おん♡ おん♡
おっほ♡ おっほ♡ おほお♡ お♡ おおん♡ おん♡ おん♡ おほっ♡

【音声方向…左】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

これ……♡ 自分で自分のオマンコをいじるのより……♡ 気持ちいい……♡
おほっ♡ おほっ♡ お♡ おほお♡ おん♡ おん♡ おおん♡
おん♡ お♡ おほっ♡ ほっ♡ ほっ♡ おほお♡ おっほお♡ おお♡
お♡ お♡ おほ♡ ほっ♡ ほっ♡ おほおん♡ ほん♡ おほお♡

【音声方向…右】

【距離感…密着（主人公の右耳）】

ああ……♡ あなたのオチンポ、さっきイッたばかりなのに……♡
またビンビンになってきていますね……♡
その極太チンポを見ているだけで……♡ アソコからおつゆがトロトロ溢れてきて……♡
びしょびしょに濡れてしまいますう……♡

おふう♡ おふっ♡ おっ♡ おっ♡ おん♡ おん♡ おっ♡ おっ♡
おお♡ おほっ♡ おほっ♡ おっ♡ おっ♡ おおっ♡ おん♡ おん♡
おっほお♡ お♡ お♡ おほお♡ ほふう♡ おおん♡ おん♡ おん♡

【音声方向…左】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

いいよお……♡ もっとクチュクチュいじってえ……♡ もっと……もっとお……♡
あふうん♡ ふふうん♡ うん♡ うん♡ おふっ♡ おほっ♡ ほっ♡ おほっ♡
おん♡ おん♡ おおん♡ おん♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡

【音声方向…右】

【距離感…密着（主人公の右耳）】

ああ……♡ オチンポが立派なだけじゃなくて……♡ 手マンも上手です……♡

こんなに巧みな指使いは初めてです……♡

あうう……♡ 身悶えしちゃいますう……♡

おふう……♡ おふ……♡ おん……♡ おん……♡ おん……♡

おほ♡ お♡ おほ♡ お♡ おう♡ おう♡ おう♡ おう♡

【音声方向…左】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

ひあああん♡ そこ♡ そこおお♡ もっとクリちゃんを、コリコリいじってえ♡

あ♡ あう♡ 頭の中に♡ ビリビリしたものが走って♡ 超痺れちゃう♡

おほっ♡ おほっ♡ おほっ♡ おほっ♡ おん♡ おん♡ おん♡ おん♡

【音声方向…右】

【距離感…密着（主人公の右耳）】

ドスケベのプロフェッショナルである私たちがこんな、乱れてしまうなんて……おっ♡

んふう♡ ん♡ くう♡ うつくう♡

ひう♡ あう♡ あふうん♡ あん♡

おほ♡ おほ♡ おほ♡ おほ♡

【音声方向…左】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

これまでずっと、持て余してきたんだね……その異常性欲……

オナニーだけだと、きつと満足しきれないと思うから……

これからは私たちでその有り余った性欲を解消してくれていいからね

おほっ♡ ほっ♡ おほっ♡ ほっ♡ おほお♡

【音声方向…右】

【距離感…密着（主人公の右耳）】

ええ……♡ ですから、ちょうど良かったと思います……♡

彼の異常性欲を見つけることが出来て……♡

溜まりに溜まった性欲が、全校の女子生徒達へと向けられる前に……♡

私達で、彼の性欲を、解消してあげられるのですから……♡

おほん♡ ほん♡ おほお♡ ほ♡ おふっ♡ ほふう♡ おっほお♡

【音声方向…左】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

ねえ……♡ そのオチンポ……♡ パンパンに張って、つらそうだね……♡

本当は、そろそろ、また君も気持ち良くしてもらいたいんでしょ……♡
いいよ……♡ あたしは、君に手マンしてもらって、十分濡れてきたから……♡
でも、あたしとの本番はまだお預け……♡
先にやるのは……そうだね……どうしようかな……♡
そうだ……!!♡
あたしのオマンコに入れる前に、胸マンコを味あわせてあげる……♡
つまり、あたしのおっぱいで、しごいてあげようか……?♡ ってこと……♡

【音声方向…右】

【距離感…密着（主人公の右耳）】

わあ♡ 会長のドスケベバイズリですね……♡

ふふふ、あなたは本当に幸せ者ですね♡

会長が一番得意としているプレイが、この大きなふわふわおっぱいでオチンポをしごくこと……

あつという間に昇天してしまうほどの気持ち良さだそうですね……♡
ぜひ、堪能してみてくださいね♡

【音声方向…左】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

何言ってるの、聖羅。あんたもやるんだよ。

【音声方向…右】

【距離感…密着（主人公の右耳）】

え？ わ、私も、ですか？

【音声方向…左】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

そんな大きなおっぱいを持っていながら、まさか自分を見る側に回るつもりだった？

【音声方向…右】

【距離感…密着（主人公の右耳）】

で、でも、私は、会長ほど上手ではないですし……

【音声方向…左】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

この子のドスケベオチンポ相手じゃ、あたし一人だけのバイズリだけだと到底太刀打ち出

来ないよ。

あんたのおっぱいも合わさって、初めて互角に渡り合える。
だから……一緒に、お願い♡

【音声方向…右】

【距離感…密着（主人公の右耳）】

わ、わかりました……！ 善処します……！

【音声方向…左】

【距離感…密着（主人公の左耳）】

ふふふ、そういうわけで、あたしと聖羅で、ダブルパイズリするからね♡
この学校でもトップクラスと評判のあたし達爆乳コンビによるご奉仕サービス♡
たっぷり味わってちょうだい♡

【音声方向…右】

【距離感…密着（主人公の右耳）】

パ、パイズリは不慣れですが、よろしくお願い致します。

【二人、場所を移動し、主人公のチンポの前に行く】

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

じゃあ、オチンポを、おっぱいで挟んで……♡

よだれを……ぐちゅぐちゅぐちゅえあー♡

ふふ、私の唾液とオチンポの先の我慢汁が混じり合ってヌルヌルしてる……♡

はい、聖羅も同じように、やって♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

わ、わかりました……

こんな、感じ……でしょうか……？

ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅえあー♡

ああ……♡

会長の涎と私の涎が混じり合って、特性ドスケベローションの完成ですね……♡
私たちのおっぱいに挟まれたオチンポ……すごくエッチです……♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

パイズリの良さって、このエロさにあるんだよね……♡
だから、あたし、パイズリするの大好き……♡
ねえ、君、ちゃんと見ててね♡ あたし達のダブルパイズリ
そしたら始めるよ……♡
ん……♡ ん……♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

はあん♡ 会長の乳首があ♡ 私の乳首に当たって♡ こすれて♡
おっぱいもギュウギュウに押しつけられてえ♡ 気持ちいいです♡
はう♡ あう♡ あふう♡ うん♡ おふう♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

カウパー出てきた♡ いい匂い♡ ヌルヌルにオチンポ濡れて、滑りもよくなるね♡
んしょ……♡ んしょ……♡
おほ♡ ほ♡ おほ♡ お♡ お♡ おおん♡ お♡ お♡ おっほ♡ おっほお♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

はい、本当に、いい匂いです……♡
オスの匂い……♡ こんな匂がされたら……♡
私の中のメスが……♡ ますます目覚めちゃいます……♡

おほっ♡ おほっ♡ おほっ♡ おほっ♡
おおおん♡ おん♡ おん♡ おおん♡ おほおおん♡ おん♡ おん♡ おおん♡
おほっ♡ おっほお♡ おほお♡ おふう♡ ふう♡ おほっ♡ お♡ お♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

あふう♡ おっぱいの中で、ヌルヌルオチンポが動く度に、ヌチヌチ音が鳴って♡
すごくいやらしいよ♡ このエッチな音も、パイズリの醍醐味だね♡
ん♡ んふう♡ ん♡ うん♡
おほっ♡ ほっ♡ おほっ♡ ほっ♡ おん♡ おん♡ おん♡ おん♡
おっ♡ おっ♡ おう♡ おう♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡

おほおん♡ ほうん♡ おふうん♡ うん♡ おほう♡ おん♡ おん♡
お♡ お♡ お♡ お♡ おん♡ おん♡ おん♡ おん♡ おん♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

私……♡ パイズリは初めてですけど……♡ これ、病みつきになりそうです……♡
特に、会長と一緒にやる、このダブル爆乳パイズリ……♡
私と会長の乳首がこすれ合う度に、ビリビリ、ゾクゾクして……♡
ビクビクするほど快感で……♡

おほ♡♡ ほ♡♡ おほ♡♡ ほ♡♡ おん♡♡ おん♡♡ おん♡♡ おん♡♡
おふ♡♡ おふ♡♡ ほ♡♡ おほ♡♡ おほ♡♡ ほ♡♡ おほ♡♡ おほ♡♡
おふ♡♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

ふふ♡ 私たちの胸オナホ気持ちいい・・？♡
私たちの爆乳乳圧でちんぼ潰してあげる♡
ほ♡♡ほ♡♡ほ♡♡ほ♡♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

ああ乳首にあなたのドスケベチンポがあたって気持ちいい♡
胸しごくの止められない♡♡
ほ♡♡ほ♡♡ほ♡♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

おお♡ 私のおっぱい君にオナホ扱いされて悦んでる・・♡
もっと私たちのおっぱいオナホ犯してえ♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

おほ♡♡♡♡♡ おほ♡♡♡♡♡ おほ♡♡♡♡♡ おほ♡♡♡♡♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

おん♡♡♡♡♡ おん♡♡♡♡♡ おん♡♡♡♡♡ おん♡♡♡♡♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

あうう……♡

会長、見てください……♡ この子のオチンポ、ますます大きくなってきてますよ♡

おう♡ おう♡ お♡ お♡ お♡ お♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

おっ♡私も・・・おっ♡

やばっいきそっおっ♡

オチンポでおっぱい犯されるだけでいかされちゃっ♡

おっ♡

おほ♡ おほ♡ おっ♡ おお♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

私も・・・おっ♡いぐっ♡

そんなこのわたしが・・・あ♡おっ♡胸だけで行くなんて・・・おっ♡

ほ♡ ほほ♡ おほ♡ おん♡ おほっ♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

いいよお、君♡ イキたくなってきたんでしょ♡

このままドピュッ♡ ドピュッ♡ って出しているよ♡

あたし達の顔にも、おっぱいにも、君のザーメンミルクをいっぱいかけてちょうだい♡

♡人で同時にいっちゃいましょ・・・おっ♡ほお♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

あん♡ 私も欲しいです♡ ザーメンミルク♡

オチンポ汁♡ 特濃精液♡

私のお顔をベトベトに汚してほしいですう♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

おほお♡ おっ♡いぐっ♡いぐっ♡いっしょにいこっ♡おっ♡

(se 同時)

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

びゅーびゅーびゅー♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

びゅーびゅーびゅー♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

おん！ お！ おおおおおん♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

おっほおおおおお♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

ああ……おっ♡……♡ 顔にいっぱい……精液かけられて……♡

すんすん……とてもエッチな匂い・♡おっ♡

ふふ、オチンポでおっぱいオナホ代わりにされて……いっちゃったあ♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

ドロドロのザーメン……♡ んんふうう……美味しそう・♡いただきます・

じゅるるる……♡ ごくん……♡ ごくん……♡

ふはあ♡とっても美味しいです……♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

この精液の匂いを嗅いでるだけで、あたし、イッチャいそう……♡

ああ♡おっ♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

私も……♡ オマンコが、またお精子を注いでほしいって、うずいて……♡
愛液がどどん、溢れ出てきています……♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

ねえ、聖羅……次は、あたしがこの子のオチンポ……味わってもいいかな……？♡

【音声方向…右斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

ええ……このこのオチンポまだまだ精液出し足りないって顔してますし♡

四章 【オホ声】会長の好き好き種付けセックス 副会長は乳首責め 3400文字

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

あっはあん♡ もう我慢出来ない♡
最後はあたしが直々にセックスさせてあげる♡ さっき聖羅がしたみたいに♡
君みたいな異常性欲の持ち主、やっぱりあたし自ら相手してあげないとね♡

ふふふ、良かったですね♡ 会長のエッチはとても激しいですよ。

それこそ最後の一滴まで搾り取られてしまうくらい……♡

はい、聖羅は余計なこと言ってないで、彼の乳首でも舐めてあげていてね♡

承知しました、会長♡

そうしたら……♡

あたしが横になるから、君のほうから挿入してきてね♡

【彩、横たわる】

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

おうっ♡きた……っ♡君の超ドスケベオチンポ……♡おっ♡

ズブズブ入ってくるううう♡

おほっ♡ おほっ♡ おほっ♡ おほっ♡

おん♡ おん♡ おん♡ おん♡

このオチンポ、すご・っ♡入れられただけでいっちゃいそ・っ♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

では、私は乳首を舐めさせてもらいますね♡

ぺろ……♡ ペロ……♡ ぴちゃ……♡ ぴちゃ……♡

じゅる……♡ じゅる……♡ じゅる……♡ じゅる……♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

ふふ、私のドスケベオマンコも気持ちいでしょ・っ♡

無数のヒダヒダが君のオチンポをぎゅーぎゅーに締め付けて

君のオチンポに射精して……っ♡お願してるの♡

君のオチンポと私のオマンコどっちが先に相手をいかせられるか勝負だね♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

会長のオマンコはドスケベすぎて射精した後のチンポもそのまま

締め付けて離さないくらいの名器なんですよ

精々、精子を枯らされないように気をつけるんですね

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

ふふ♡さあ自慢のオチンポを思いっきりついてきなよ♡

おっ♡ おう♡ おう♡ おうん♡ おほっ♡ おほっ♡ おほっ♡

おっほお♡ おほお♡ おん♡ おん♡ おん♡ おん♡ おほ♡ ほっ♡

おほおお♡ おおおほ♡

君のオチンポおすごっ♡

なんて異常性欲なお♡

こんなの普通の女の子じゃすぎ堕ちちゃう・っ♡

おほ♡ おほ♡ おっほおおお♡だけど私のオマンコも負けないから・っ♡

ぎゅーぎゅーぎゅー♡ふふオマンコが君のちんぽに絡みついているのわかる・っ♡？

オチンポ動かさなくても腰が抜けそうなほど気持ちいでしょ♡

おほお♡ おほっ♡ おほっ♡ おん♡ おん♡ おん♡ おん♡ おん♡

おほっ♡ おほっ♡ おほお♡ おほお♡ お♡ お♡ お♡ お♡ おっほお♡

おほっ♡ おほっ♡ おほっ♡ おほっ♡ おっ♡ おっ♡ お♡ お♡ お♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

爪であなたの乳首いじってあげますね・・・
かりかりかり・・・かりかりかり♡

ふふ、私の乳首責めと会長のマンコき・・・

流石のあなたといえど、このドスケベ2体1には敵わないでしょう♡

かりかりかり・・・かりかりかり、かりかりかり

あなたの乳首、コリコリに硬くなっています・・・♡

会長のオマンコの中は、どうですか……？ 気持ちいいですか……？

もっと、そのツンツン乳首……舐めて、吸って、責めてあげますね……♡

ちゅううう……♡ ちゅううう……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡

じゅ……♡ じゅ……♡ じゅ……♡ じゅ……♡ ちゅう……♡ ちゅう……♡

れろ……♡ れろ……♡ れろ……♡ れろ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡

ちゅば……♡ ちゅば……♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

おっ♡チンポがもっと硬く……♡

おほ♡ おほ♡ おほ♡ おほ♡ おん♡ おん♡ おん♡ おん♡ おん♡

おほっ♡ おほっ♡ おほお♡ おほお♡ おんっ♡ おんっ♡ おふっ♡ おふっ♡

お♡ お♡ お♡ お♡ お♡ お♡ お♡

おくっ♡ズンズンツかれて・・・私のオマンコまけちゃうっ♡

んっ♡すきっ♡このオチンポ大好き♡ 私のオマンコと相性抜群っ♡すきっ♡

もっとお♡ もっとちようだい♡

あたしのことを壊しちゃうくらいに♡ ずっぽずっぽ♡

奥のほうまでオチンポで突きまくってえ♡ 無茶苦茶にしてえ♡

おん♡ おん♡ おん♡ お♡ お♡ お♡

おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡

おう♡ おう♡ おう♡ おう♡ おほ♡ おほ♡ おほ♡ おほ♡

おっほお♡ おほ♡ おほ♡ おほ♡ おほ♡

おおおおん♡ おほっ♡ おほっ♡ おほっ♡ おほおおおん♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

あの会長がこんなに、乱れるなんて・・・

凄いドスケベオチンポ・・・これほどとは・・・

もしかしたら私たち人まるごとこのチンポに・・・

いやドスケベの精鋭の私たちが負けるわけが・・・

ふ……………うん……………♡

ちろ……………♡ ちろ……………♡ ちろ……………♡ ちろ……………♡

ちゅろ……………♡ ちゅろ……………♡ ちゅろ……………♡ ちゅろ……………♡

ちゅう……………♡ ちゅう……………♡ ちゅう……………♡ ちゅう……………♡

れろ……………♡ れろ……………♡ れる……………♡ れる……………♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

しゅきいい♡ しゅきいい♡

キス……………♡ キスしてえ……………♡

ちゅーしてえ……………♡

べろちゅー……………♡

君と、ラブラブなべろちゅーがしたい……………♡

あむ……………♡ ん……………♡

ちゅ……………♡ ちゅ……………♡ じゅりゅりゅ……………♡ じゅる……………♡ じゅぞぞ……………♡

じゅぷ……………♡ じゅぷ……………♡ じゅ……………♡ じゅ……………♡ じゅぼ……………♡ じゅ……………♡

ちゅうう……………♡ ちゅう……………♡ ちゅ……………♡ ちゅううう……………♡ ちゅりゅりゅ……………♡

ぺろ……………♡ ペロ……………♡ んぢゅう……………♡ ぢゅ……………♡ ぢゅば……………♡ ぢゅ……………♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

ああ♡会長のデ IPPキスとマンコキの最強ドスケベ攻撃……………♡

これはそろそろ決着ですかね……………

かりかり♡かりかりかり♡かりかりかり♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

ちゅ……………♡ ちゅ……………♡ ちゅ……………♡ ちゅ……………♡ ぢゅ……………♡ ぢゅぢゅ……………♡

ふーふー♡ ああ♡私のオマンコが君のザーメン欲しがってる

雌の本能が雄の君の子供を孕みたがってる……………♡

あたしのオマンコの中に、たくさんザーメン注入して……………♡

あはああ……………♡ ザーメンくださあい……………♡

ん！ おっ♡

すごっピストン・・・はげし・・・おっ♡

本気で私のこと孕ませようとしてる・・・っ♡おっ♡

このままじゃ私・・・本当に・・・孕まされちゃう・・・♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

あ、あああ……♡ 会長が、種付けされようとしています……♡

私も、乳首を責めて、応援しますね……♡

んふう……♡ ちゅ……♡ ちゅる……♡ ちゅる……♡

じゅぞぞぞ……♡ じゅううう……♡ じゅぞぞぞ……♡ じゅううう……♡

ちゅば……♡ ちゅば……♡ ちゅば……♡ ちゅば……♡

ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

おん♡ おん♡ おん♡

来る……♡ 来ちゃう……♡ イッちゃう……♡ イク……♡

らめ……♡ 今射精されたら、できちゃう・・・君とのあかちゃんできちゃう・・・♡

おっいぐっいぐっいぐっいぐっ♡びゅーびゅーびゅーびゅー♡

……おっ♡ おお♡ほおお♡中に、いっぱい、精液が出てるう♡

君のザーメンが私の子宮にドクドク注がれてるのが、よくわかる♡

おっ♡絶頂の余韻で私のオマンコから精子逆流しちゃってる♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

会長……♡ この子のオチンポ、本当に恐ろしいですね……♡

こんなに何度も射精しているのに、まだ全然衰えていないですよ……♡

搾っても搾っても、搾りきれないほど、精液が出てくるんですね……♡

このままじゃ私たち二人ともこのオチンポに・・・

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

ふふふ、もしかして、このまま二回戦出来るのかな？♡

いいんだよ、我慢しなくても♡

やりたいようにやって♡

あたしは、まだまだ平気だから♡私達が孕まされるのが先か・・・君の精子がなくなるのが先

か・・競争だね・・♡

さあ……♡ 来て……♡もいっかい君のオチンポで私の赤ちゃんの部屋乱暴に犯して♡
ん！♡ おっ♡きた・・♡いったばかりの敏感オマンコに君のドスケベチンポ
はいつてきた・・♡♡

ほっ！ おほっ！ おほっ！ おほっ！ おほっ！ おほっ！

ああオチンポつかれる度に思い知らされちゃう・・っ♡

私たちはただのメスなんだって・・♡

ほっ！ おほ！ ほっ！ おほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！

おん！ おん！ おん！ おん！ おん！ おん！ おん！ おん！

おっほお！ おっほお！ おほ！ ほ！ おほ！ ほおおお！

ふあ！

堕ちちゃう・・私のオマンコ君専用のオナホマンコに堕とされちゃう・・♡

ちようだい……！ またちようだい……！ 君の子種……！

あたしの子宮に、思う存分種付けしてちようだい……！

あぐ！ あう！ あううう！ あぐう！

おほっ！ おほっ！ おほっ！ おほっ！

んおああ♡ さっきイッたばかりなのに！ また！ イクう！ イッちゃうう！

イグイグイグイグイグイグイグ♡

びゅーびゅーびゅーびゅーびゅー♡おおおっおおお♡

……♡お♡お♡ また、たさんのザーメンが……♡ 私の中に……♡

こんなに出されたら・・本当にもししたら・・♡

【音声方向…左斜め前】

【距離感…近め（主人公の胸のあたり正面）】

ふふふ、会長のオマンコから泡だった精液が溢れ出てきていますね……♡

濃厚で、ネバネバしていて、一度着床したら二度と剥がれなさそうなほど強い精液が♡

会長のなめらかな太ももを、トロトロと伝い落ちていきますよ♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

ビククリしちゃうなあ……♡

まだ君のオチンポ、硬さも太さも保ってるよ……♡

あたしの中で、パンパンに膨らんで、オマンコを押し広げてるもの……♡

いったい、あと何回イケば、君のオチンポは萎えるの……？♡

試してみたいな……♡

とりあえず、どうする……？♡

三回戦目に入る前に、休憩する……？

それとも、このまま……次に突入する……？♡
あたしは、それでもいいよ……♡
……オッケー♡ そうしたら、このまま続けようか♡
君か、あたしか、どちらかがギブアップするまで……♡ 子作りセックスしよ……♡
お……♡ おほ……♡ おほ……♡ ほ……♡

五章 【オホ声】副会長の特別個別指導 4000文字

【音声方向…正面】

どうぞ、入ってください。

ちゃんと私からの呼び出しに応じて、来ましたね。感心です。

さて、どうしてまたこの特別指導室に呼ばれたか、わかりますか？

あなたは先日、会長のマンコの中に、計10回にわたって種付け射精を行いました。

これは驚異的な回数です。

前は、性欲係数540と出ましたが、おそらくあなたのポテンシャルは、もっとある。

そこで、先日の特別指導だけでは足りないと思い、今日こうして呼び出したのです。

さて、何をするか……ですが……

先日はしなかったことを、今日はしましょうか。

さあ、服を脱いで、裸になってください。

【主人公、服を脱ぐ…3秒の間】

聞き分けのいい子ですね。偉いですよ。

では、そこに仰向けになって寝転がってください。

そのまま膝を立てて……それから脚を開いてください……

そう、そんな感じです。アナルがしっかり見えていますよ。

これから私がするのは……アナル責めです。

あなたのアナルを犯して、徹底的に精子を搾り取ってあげます♡

あなたの肛門を、私が舌で丹念に舐めてみせますね。

ふふふ、綺麗か汚れているかは、関係ありませんよ。

むしろ汚れているくらいの方が興奮します……♡

私、アナルを舐めるのも大好きですから……♡

それでは……アナルに顔をうずめますね……♡

【聖羅、アナルに顔を埋める】

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

……んふう、この匂いです♡ たまらないです♡ 私の大好きな匂い♡
さあ、今から、私の舌で綺麗綺麗にしてあげますからね♡
れろ……れろ……れろ……れろ……れろ……

じゅぷ……じゅぶるるる……じゅば……ちゅる……じゅ……じゅううう……
じゅっぽ……じゅっば……じゅっば……じゅっば……

くちゅ……くちゅ……ちゅるる……ちゅるる……ちゅううう……

あはああ♡ 鼻の奥にまで、肛門の匂いが伝わってきます♡

これがあるから、アナル責めはやめられないんです……♡

ぺろ……ぺろ……ぺろ……ぺろ……

ぢゅ……ぢゅ……ぢゅ……ぢゅ……

ふふふ、どうしたんですか？♡ 喘ぎ声が漏れていますよ♡

そんなに私にアナルを舐められて感じちゃっているんですか？♡ 可愛いですね♡

それでは、もっともっと舐めてあげますね♡

ぢゅっぽ……ぢゅっば……ぴちゅ……ぴちゅ……ちゅぶぶぶ……ちゅろ……ちゅろ……
えろ……えろろ……じゅば……じゅば……じゅ……じゅ……じゅうう……じゅうう……

ぴちゅ……ぴちゅ……ぴちゅ……ちゅぶ……ちゅ……ちゅるる……ぢゅぶうう……

んー♡ オチンポがどんどん元気になってきていますね♡

私の中に入れたくて、しょうがない、って感じですね♡

大丈夫ですよ、このアナル舐めの後に、ちゃんとセックスの時間を設けますから♡

そこで思う存分突きまわってくださいね♡

れろ……れろ……れろ……れろ……じゅば……じゅば……じゅば……じゅば……

じゅっぷ……じゅっぷ……じゅるる……じゅば……じゅば……ちゅ……ちゅ……

ちゅうう……ぢゅ……ぢゅ……ぢゅ……べろ……べろ……れろ……れろ……ちゅうう……

ぴちゅ……ぴちゅ……ぴちゅ……ぴちゅ……ちゅば……ちゅば……ちゅば……ちゅば……

おほ♡オチンポすごく大きくなっちゃってますね♡

あなたのオチンポの凶悪さは、本当に惚れ惚れするほどです♡

こんな危険なオチンポ、放っておくわけにはいかないですね♡

これから毎日でも、溜まっている精を搾り取らないと、本当に、何をしかすことか……♡

覚悟してくださいよ♡ 私は、本気でですからね♡

あなたのお精子を搾って搾って、搾り取りますからね♡

しょうがないですよねこれがオホ声性処理委員会の仕事なのですから♡

さあ♡ さあ♡ もっともっと、大股開いてください♡ 開脚タイムです♡

私によく肛門が見えるように、しっかり体勢を作ってくださいね♡

ふふふ、アナルが動いているのがよく見えますよ♡　そうです、その調子です♡
んん？♡　どうしたんですか？♡　肛門をヒクヒクさせて♡

そんなに私に、もっと舐めてほしいんですか？♡

いいですよ♡　さらにいやらしく、ビチャビチャ音を立てて、舐めてあげますね♡

れろれろ……♡　れろれろ……♡　ぢゅ……♡　ぢゅ……♡　ぢゅ……♡　ぢゅ……♡

ぢゅぷ……♡　ぢゅぷぷ……♡　じゅうう……♡　じゅうう……♡　んぢゅ……♡

ぢゅぽ……♡　ぢゅぽ……♡　ぢゅ……♡　ぢゅ……♡　ぢゅぽ……♡　ぢゅぽ……♡

れろ……♡　れろ……♡　ぴちゃ……♡　ぴちゃ……♡　ぢゅ……♡　ぢゅ……♡

れろ……♡　れろ……♡　ぢゅぽ……♡　ぢゅぽ……♡　ぢゅ……♡　ぢゅ……♡　ぢゅぞおお……♡

おほ♡　だいぶアナルが綺麗になってきましたよ♡

どうですか？♡　ここまで献身的にご奉仕される気分は？♡　幸せですか？♡

私は、今、すごく幸せです♡　あなたのアナルをこんなにも堪能できて♡

このまま一日中、あなたの肛門に顔をうずめていたいくらいです♡

ふふふ♡　今度は舌ではなく、少し指を突っ込んでみましょうか♡

え？　怖いんですか？　大丈夫ですよ、痛くはないですから♡

ちゃんとローション塗って、入れますよ♡

ほら、もう準備してあるんです♡　これで、指の滑りを良くして……♡

えい♡んっ♡はいったあ・♡

ふふふ♡　可愛い声が出ましたね♡

さあ私の指であなたのドスケベアナルをほじくってあげますね♡

それ♡　それ♡　どうです？♡　えい♡　えい♡　ふふふ♡　いい音出てますよ♡

クチュクチュ音がしています♡　お尻の穴がビクンビクン震えていますね♡

もっとしてほしいんですか？♡　いくらでもしますよ♡

そら♡　そら♡　それ♡　それ♡　ふふふ♡　ふふふ♡　楽しい♡　ふふふ♡

アナルの周りを舐めながらほじほじしてあげます♡

んふう……♡

ぺろぺろぺろ……♡　ぺろぺろぺろ……♡　ちゅるちゅる……♡　ちゅるちゅる……♡

じゅぽ……♡　じゅぽ……♡　ぢゅぽ……♡　ぢゅぽ……♡　ぢゅ……♡　ぢゅ……♡

ちゅうう……♡　ちゅぽ……♡　ちゅぽ……♡　れろ……♡　れろ……♡　れろ……♡

じゅじゅじゅじゅ……♡　じゅるるる……♡　ぴちゃぴちゃ……♡　れろおん……♡

ぢゅぢゅぢゅ……♡　れろ……♡　れろおん……♡　ぢゅぢゅぢゅ……♡

ぢゅぽ……♡　ぢゅぽ……♡　ぢゅぽ……♡　ぢゅるる……♡　ぢゅ……♡　ぢゅ……♡

ぢゅううう……♡　ぢゅぽ……♡　ぢゅぽ……♡　ぢゅ……♡　ぢゅ……♡　ぢゅ……♡

ふふふ♡　もうオチンポが爆発しちゃうそうですね♡

イキたいんですね？♡　思いきり射精したいんですね？♡

じゃあ、そろそろ、セックスへと移りましょうか♡

では……♡ ローションを、オチンポに垂らしますね……♡
え？ どうしてチンポをローションで濡らすのか、ですか？

決まってるじゃないですか♡ これからするのは、普通のセックスじゃないんですから♡
あなたのアナルを舐めてあげたんですから……♡ お返しも当然、アナルで……♡
アナルセックス……♡

さ♡ 私の肛門にも、ローションを塗って……♡
これで準備完了です♡

そのまま寝転がったままでいてくださいね♡ 私が騎乗位で、乗っかりますから♡
ほら・・みえますか・♡私のドスケベアナル・・♡周りにうっすら毛が生えた未処理の
ケツアナであなたのオチンポしっぽり犯してあげますからね・・♡
さあ……♡ 入れますよ……♡ 私のケツマンコに、あなたのデカチンポ……♡

おっ♡おっ♡はいったあ・♡ おっ♡

わ、私のアナルを・・おっ あなたのドスケベオチンポが・・あ♡ ぐりぐり押し広げて・・
私のケツアナ開発されちゃってる・・♡

おっほお！ おほおっ！ おほおっ！ うほっ♡ おっ♡ いぎっ！ おっおっ♡
私のアナル君のオチンポの形に変えられちゃってる・・♡

ぐふううう！

おほ！ おほ！ おほ！ おほ！

ああ♡ケツアナもちいい♡

おっ♡私はケツアナで感じる変態です！ おっ♡

本当は、特別指導なんて、嘘なんですう！

あなたのオチンポとケツアナセックスしたいだけであなたをここによんじやいました♡
もつとあなたのチンポで私のケツアナを開発してください・♡

おっ♡

私、委員会の副会長として、失格ですう！

ただアナルセックスしたいがために君とエッチしてるんだから・♡

おっ♡おほっ♡おっ♡おっ♡おっ♡

こんな淫乱ドスケベアナル・あなたのチンポで絶頂させてください・♡
おっ♡いぐっ♡いぐっ♡ケツアナでいぐっ♡アナルアクメぎめちゃうっ♡

このまま中にだしてください・♡おっ♡ 私のケツマンコ孕ませてください……！
いぐいぐいぐいぐっケツマンコいぐうっ♡

びゅーびゅーびゅー♡

おっ♡おっ♡おっ♡ほおお♡

きた・♡あ♡

あなたのドロドロ精液が……私のアクメ決めてるお尻の中に……♡
あったかい……♡

ふふ、あなたのザーメンが私のお尻から溢れ出てとてもえっち・・・♡
それでも、まだ、あなたのオチンポは元気ですね……♡

ふふふ、それでは、二回戦目、行きましょうか♡

この間は会長と十回戦もしたんですから……私にも、同じだけ、してくださいよ♡
もちろん、最初から最後まで、アナル責めでお願ひしますね……♡

肛門がガバガバに開かれるくらい、激しく……♡

六章 【オホ声】会長の特別個別指導 本気種付けいちゃらぶ交尾 種付けプレス 340
0文字

【音声方向…正面】

ちよつと君、いいかな。

こつちへ来て。こつちへ。話があるから。

【会長室へ移動する…3秒の間】

【音声方向…正面】

何で呼び出したか、わかるかな？

聖羅と……うちの副会長と、エッチをしたでしょ。

隠したってダメだよ。ちゃんとわかってるから。

この学校内でのことは、あたしに細かく報告が上がってくるからね。

君と聖羅が密室であんなことやこんなことをしていたっていうのは、もうバレてるよ。

それで……どうだったの？

何回くらい楽しんだわけ？

気持ち良かったの？

射精はどこに？ 中出し？ 外出し？

ふうん……そうなんだ。

……ちよつと、なんか、モヤモヤするなあ。

まったく、君は本当にどうしようもない子だね。

さすが性欲係数500超えだけあって、その異常性欲、収まるところを知らないね。

ここは、あたしが個別指導してあげないといけなさそうだね。

はーい、その椅子に座って。

今から会長であるあたしが特別に二人きりで相手してあげる。

逆らったりしないでね。ここではあたしが絶対だから。

あたしの言うことを全部聞くように。いいね？

それじゃあ……あたしのオマンコで上書きさせてちょうだい♡
どうしたの、その顔？ キョトンとしちゃって。

言ってる意味がわからなかったかな？

聖羅のアナルで塗りたくられた君のオチンポを、あたし色に染め直してあげる、ってこと♡
なんで、そんなことを言うのかって？ うーん、なんでだろうなあ……。

あれかな。君が聖羅と隠れて二人きりでエッチしてたって考えると、なんだか、こう、落ち着かないものがあるんだよねー。

なんだか、聖羅に君を取られちゃったみたいで、面白くないの。

だから……あたしのオマンコで、君のオチンポを上書きしてあげる♡

聖羅のアナルよりも、あたしのオマンコのほうがずっとずっと気持ちいいって、たっぷり思
い知らせてあげるんだから♡

はーい、そうしたらチャックを下ろすねー♡

【彩、主人公のチャックを下ろす】

わあ、オチンポ出てきたあ♡

相変わらず大きい♡ それにガチガチに硬い♡

前にした時よりも、また一段と大きくなってるんじゃない？

こんなのオマンコに入れたら、あたし、今回は壊れちゃうかも……♡

もう他の女とセックスできなくなるよう、私が君の精子全て受け止めてあげる…♡

そうしたら……オチンポ、入れてくね……♡

んしょ……よいしょ……♡

【挿入】

【音声方向…正面】

【距離感…密着（正面）】

んっ…おっ…♡きた…あ♡

私のオマンコの形を変えたドスケベオチンポお…♡

今日は私達二人だけで、いっぱい愛し合お……♡

お♡ おほっ♡ おう♡ おほう♡ ほっ♡ おほお♡ ほっ♡ ほふっ♡

おん♡ おん♡ おん♡ おん♡ おおん♡ おほっ♡ ほっ♡ おほっ♡ ほっ♡

お♡ お♡ お♡ お♡

気持ち、いいよ♡もう私のオマンコは君のオチンポ専用オナホに開発されちゃってるの
かもしれない♡

もっと激しくていいよ♡ 私のオマンコ、オナホみたいに乱暴に扱っていいからっ♡

そう♡ そんな感じ♡ はああん♡ 最っ高♡
ねえ……♡ キスしたい……♡ キスしよ……♡ ね……♡
んぐ……じゅ……ちゅ……ちゅ……ちゅ……ちゅば……ちゅ……ちゅ……ちゅ……
ちゅうう……ちゅ……ちゅば……ちゅ……ちゅうう……ちゅ……ちゅ……ちゅ……
舌も、いっぱい絡めて……

れろ……れろ……れろ……れろ……ちゅば……ちゅば……ちゅば……ちゅば……
れろ……れろ……ちゅ……ちゅ……ちゅ……ちゅうう……ちゅろ……ちゅりゅ……ちゅ……
ちゅび……ちゅば……れろ……れろ……れろ……ちゅ……ちゅ……ちゅ……ちゅ……
はっふう……♡

キスだけで、イツちやいそう……♡

もしかしたら、もう私君のこと・好きなのかも……

ふふふ……♡ 本当に、君のオチンポってば、凶悪だなあ……♡

聖羅も……あたしも……すっかり虜になっちゃってるよ……♡

女の子は自分を気持ち良くしてくれるオチンポには勝てないからしょうがないよね♡
もっともっと、激しくしていいからね……♡

あぐ……♡ おふ……♡ じゅろ……♡ じゅる……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡
ちゅば……♡ ちゅば……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅぶ……♡ ちゅる……♡
ぢゅ……♡ ぢゅ……♡ ぢゅ……♡ ちゅうう……♡ ぴちゃ……♡ ぴちゃ……♡
れろ……♡ れろ……♡ れろ……♡ れろ……♡

おほっ♡ ほっ♡ おほおおん♡

うそでしょお♡ ここからまたオチンポ大きくなるのお？♡

おほっ♡ おほっ♡ おん♡ おん♡ おおん♡ おん♡ おん♡ おん♡

おっほお♡ おほ♡ ほ♡ ほおおん♡ おん♡ おん♡ おほっ♡ ほおう♡

おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡

君のオチンポ、最高すぎて、どんどん下品なオホ声が漏れ出ちゃう♡

おっほお♡ おほお♡ おほっ♡ おほっ♡ おっほ♡ おっほ♡

おん♡ おん♡ おん♡ おん♡ おほ♡ おほ♡ おほ♡ おほ♡ おほ♡

おっほおおん♡ おん♡ おん♡ おふん♡ ほふう♡ おっほ♡ おっほ♡ おっほ♡

手加減なくていいから♡ 好きなだけ、突きまくっていいから♡

それに、イキたくなったら、いつでもイッていいからね♡

この間みたいに、10発でも、20発でも、君の精液を受け止めてみせるから♡

いっぱい、いっぱい、中出して私のオナホ子宮孕ませてえ♡

おお♡ おっ♡ オチンポ♡ 本気で種付けしようとしてるのがわかる……♡

私ただのメスに堕とされちゃう……♡ おっ♡

おっ！

おほっ！ おほっ！ おほお！ おほ！ おほっ！ おん！ おん！ おん！ おん！

好き……♡ 好き……♡ 大好き……♡ 特別に好き……♡
んぐ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅ♡
れろ♡ れろ♡ れろ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ あむ♡ あん♡ ちゅ♡ ちゅ♡
ちゅううううう……♡

イク！ いぐっ♡ いぐっ♡ いぐっ♡ 堕ちちゃうっ♡ 君の奴隷オナホマンコに♡ 敗北マン
コ孕まされちゃう・うう♡

おっほおおおおおおおおおおおおおおお！

おお♡ おっ♡ 君の赤ちゃん汁で私の子宮パンパン♡

これは・雌の本能でわかる・多分君の赤ちゃん孕んじゃってる・♡

ああ……♡ はああ……♡ 私のオマンコ君のオチンポに完全敗北しちゃったあ……♡
でも幸せ……♡

ふふ、これでまずは一回戦……といったところかな♡

それじゃあ、君の美味しい精液、一回お掃除フェラで綺麗に吸い取ってあげるね♡

【場所を変えて、フェラチオに入る】

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

じゅっぽ……♡ じゅっぽ……♡ じゅぶ……♡ じゅぶ……♡ じゅぶ……♡

じゅぞぞ……♡ じゅじゅじゅ……♡ じゅ……♡ じゅ……♡ じゅるるるる♡

じゅぽ……♡ じゅぽ……♡ じゅぽ……♡ じゅぽ……♡

ごくん……♡ ごくん……♡ ごくん……♡ ごくん……♡

あふう♡ ごちそうさまあ♡

ほんと美味しい♡ 君のオチンポ汁♡ いくらでも飲めちゃう♡

今日から毎日飲ませてもらおうかな♡ あたし、やみつきになっちゃいそう♡

君の子種ミルク♡ あたしの中にこれからもいっぱい注がれる愛しいお汁♡

ふふ♡ もっともっと、飲ませてもらうんだから♡

ぢゅ……♡ ぢゅ……♡ ぢゅ……♡ ぢゅ……♡ ぢゅっぽ……♡ ぢゅっぽ……♡

ぢゅるる……♡ ぢゅるる……♡ ぢゅるる……♡ ぢゅるる……♡ ぢゅるる……♡

ごくん……♡ ごくん……♡ ごくん……♡ ごくん……♡ んぐ……♡ んん……♡

ぢゅうううう……♡

ごきゅ……♡ ごきゅ……♡ ごきゅ……♡ ごきゅ……♡

あっはあ♡

さーて、お掃除フェラも終わったところで、二回戦いくよ♡

ふふ♡ 今度は、あたし、四つん這いになるからね♡

バックから、いっぱい突いてちょうだい♡

【彩、四つん這いになる】

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

ん！ おっ♡ きた・・・あ♡

すご獣みたいなセックス・・・♡君のオチンポいれただけで私ただのオナホメスに墮とされちゃう・・・♡

信じられないくらい、タフで立派なオチンポ……！

おおお！ おほっおっ♡！ すごっ♡ぎもぢっ♡おっ♡

バックから！ 犬みたいに！ 犯されて！ あたし！ すごく！ 興奮するう！

いいのお！ もっと！ 荒々しく扱ってえ！ドマゾメスマンコぐちゅぐちゅに犯してえ♡

おっほおおお！ おほ！ おほ！ おほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！

おふ！ おふ！ おふうう！ おふう！ おっふ！ おっふ！ おっふ！

おん！ おん！ おん！ おん！ おん！ おん！ おん！ おん！

あたしのアソコは、君の精子専用の苗床だから！ 君の精子で何回も孕まされる都合のいい苗床だからあ！

無茶苦茶なくらい、ドツピユドピユに、お精子を注いでちょうだい！

おほ！ おほ！ おほ！ おっほお！ おほ！ おほお！ おほお！ おほおお！

おん！ おん！ おん！ おん！ おん！ おん！ おん！ おん！

あ！ あ！ くるっザーメンくるっ♡

いいよ！ イッて！ オチンポ子種ミルクう！ たくさん出してえええ！

おっほおおおおおおおおお！

おっ♡ ザーメンがオマンコから逆流して・・・私の中にもう・・・ザーメンはいらない・・・

♡君のザーメンで一杯になっちゃったあ・・・♡

ん・・・おっ・・・♡

うっそ……!!? イッたばかりなのに、またすぐに腰を振るの……!!?

もう三回戦目に入るの・・・おっ♡

ああザーメンオチンポでかき混ぜられて・・・確実に着床しちゃってる・・・♡
認めます・・・っ♡君のオチンポに私のオマンコは完全敗北しました・・・♡

七章 【オホ声】Wボテ腹オホ声セックス 2900文字

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

あんあああ♡ 気持ちいい♡ 気持ちいいよおお♡

もっとお♡ もっと♡ もっとちょうだあい♡

ふあああ♡ おほ♡ おほおん♡ これで、もう5回目……♡
今日は、どこまで射精してもらえるんでしょうか……♡
記録にチャレンジですね……♡

ああん♡ほんと、過去最高記録は、15回だもんね♡
それだけ中出しされまくったから、ほら、見て、あたしも、聖羅も、こんなにポテ腹になっちゃった♡
君に植え付けられた子種が、順調に育っている証だね♡

いま、私、すごく幸せです……♡ あなたの子供が、お腹の中にいるかと思うと……♡
毎日が愛しくて、愛しくて……♡

ふふふ、それにしても、君の異常性欲、本当にすごいね♡
これだけあたし達とエッチしても、一向に性欲が下がらないんだもの♡
もう、危険すぎて、他の女子生徒には相手させられないよ♡

ええ……♡ 私達でなければ、あなたの異常性欲は受け止めきれないでしょうね……♡
いいよ……あたし達が、ズーっと、あなたの性欲のはけぐちになってあげる♡
だから、もっとオチンポちょうだい♡

私にもオチンポをくださいいい♡ オマンコでも、アナルでも、どの穴でもいいので♡
ズッコンズッコン突っ込んでくださいいい♡

えええ!? 聖羅、もう5回してもらってるじゃない!
あたしはまだ4回だよ! 次はあたしの番だからね!

ふふふ、こういうのは、押しの強いもの勝ちですよ、会長♡

ずるいずるいずるーい!

さあ……♡ 私はいつでも大丈夫ですよ……♡
オチンポ、入れてください……♡
さつきまで、オマンコに3回、アナルに2回……射精してもらいましたけど……

次は、どっちにいられてもらえるのでしょうか……♡
あふうう！ あん！ あう！ あ！ あううう！
オマンコおお♡ オマンコに入ってきたああ♡

いいなあ じゃあ、あたしは、べろちゅーしょ……♡

【音声方向…正面】

【距離感…密着（主人公の顔前）】

ん……♡ ちゅ……♡ ちゅば……♡ ちゅ……♡ ちゅるる……♡ ぢゅろろ♡
ぢゅる……♡ ぢゅ……♡ れろ……♡ れろ……♡ れろ……♡ れる……♡
ぢゅぞぞ……♡ ぢゅ……♡ ぢゅば……♡ ぢゅび……♡ ちゅううう♡
ちゅ……♡ ちゅ……♡ れろ……♡ れろ……♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！

オマンコつかれるたびに、乳首から母乳が吹き出て……おっ♡

ぎもぢっ♡母乳まぎちらしちゃってます♡

おほ！ おほ！ おほ！ おほお！ おっふ！ おっふ！ おっふ！
おん！ おん！ おん！ おおん！ おん！ おん！ おん！ おふうん！
おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！

【音声方向…正面】

【距離感…密着（主人公の顔前）】

はう……！！ 次こそは、あたしが、オマンコに入れてもらうんだから……！！
ちゅろ……♡ ちゅろ……♡ ちゅろ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡
れろ……♡ れろ……♡ れろ……♡ れろ……♡
ぢゅば……♡ ぢゅば……♡ ぢゅび……♡ ぢゅび……♡
ぴちゃ……♡ ぴちゃ……♡ ぴちゅ……♡ ぴちゅ……♡
ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡ ちゅ……♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

おっ♡ おっ♡

子宮の奥に！ ズンズン！ 突き当たって！ イッちゃう……！！

おお……いぐっいぐっいぐっ……♡

あぐ！ あぎ！ あぎ！ あっぎいい！ あん！ くあ！ あ！ あああ！

おほ！ おほ！ おほ！ おっほ！ おっほ！ おっほ！
おん！ おん！ おん！ おん！ おん！ おん！ おん！

【音声方向…正面】

【距離感…密着（主人公の顔前）】

ちゅば……♡ ちゅば……♡ ちゅ……♡ ちゅび……♡
れる……♡ れる……♡ れろ……♡ れろ……♡
ぺちゃ……♡ ぴちゃ……♡ ぺろ……♡ ぺろ……♡
ん……♡ んむう……♡ んちゅう……♡ ちゅうう……♡
ぺろ……♡ ぺろ……♡ ぺろ……♡ ぺろ……♡

【音声方向…正面】

【距離感…近め（主人公の腰のあたり正面）】

おっ♡ おほっ♡ おおっ♡ おんっ♡ おっ♡
あん！ あ！ あ！ あふう！ あ！ あ！ あん！ あ！ あ！
おほ！ おほ！ おほ！ おほお！ おっほ！ おっほ！ おっほ！
お！ お！ お！ お！ お！ お！ お！ お！

母乳止まらない・っイグイグっうう♡私のボテ腹マンコに中出ししてください♡
びゅーびゅーびゅーびゅー♡

おんおおおおおお……！

お……♡私の母乳とあなたのザーメンが混じって……すごいえっち……
オマンコの中に、ザーメンがいっぱい放たれているのが、わかります……♡

はーい、聖羅、お楽しみの時間は終わったかな？

次こそはあたしの順番だからね！

もう1回……もう1回だけ……させてください……♡

だーめ！ これは譲らないからね！

ふふふ、そうしたら、あたしのターンだよ♡

君のオチンポ、また搾りに搾って、搾り取ってあげるからね♡

今回は騎乗位で楽しもうかな♡

よいしょ……っと……♡

ん！ くふうう♡ オチンポが、メリメリ、入ってくるう♡

これ wait っていたの♡ 君のオチンポ♡

さっきから聖羅ばかり楽しんでばかりだったから……

ちよつとヤキモチ焼いてたんだよ……

待たせた分、いっぱいあたしのこと、愛してよね……！

おっ・・・♡きたぁ・・・♡

私のマンコ孕ませたドスケべちんぼ・・・ぁ♡

もうこれ以外のチンポとえっちできない身体になっちゃったぁ・・・♡

おっ♡ おんっ♡ おっ♡ あう！ あふう！ おっ♡

おほっ♡おおおお♡

んおっ♡おっ♡おおお♡

あの日……君のことを……性欲計測器で計って……異常性欲のことがわかった時から……

あたしは、君に興味を持っていたの……

あつくうう♡

あたしは、もう君のチンポのことしか、考えられなくなっちゃったの……♡おっ♡

おほっ！ おほっ！ おほっ！ おほっ！ おおん！ おん！ おおん！ おん！

おほっ♡おおおお♡んおっ♡おっ♡おおお♡

おっふうう！ ふうう！ おふ！ おふ！ ふ！ おふう！ おぐう！ おん！

もう……！ オチンポつかれる度に、おっぱいから母乳止まらない♡

いいよ・・・♡吸って・・・♡私のドスケベ母乳おっぱい♡

おほっ♡おおおお♡んおっ♡おっ♡おおお♡

おっふうう！ ふうう！ おふ！ おふ！ ふ

もう、イク……！ イッちゃう……！ おっぱい吸われながらイグっ♡

お！ お！ お！ お！ お！ お！ お！ お！ 私の妊娠オマンコに思いっきり中出し

して♡いぐいぐいぐいぐ♡

いぐう♡びゅービュービュービュー♡

おっ・・・♡おおおお♡ほお・・・♡妊娠マンコにに精液が注がれてえ・・・♡

こんなのまたすぐ孕まされちゃう・・・♡

……はぁ♡ ……はぁ♡

超よかったよ……♡

本当に……この調子でやり続けたら……

永遠に君にはらまされちゃいそう♡

会長……私も……足腰が立たないです……

もつとセックスできると思っていたんですけど……力が……出ない……

仕方ないよ……あたし達、こんな体だし……

ボテ腹のまま、前みたいセックスしようっていうのが、無理あるもの……

赤ちゃん生まれたら、体を戻して、今度こそ目指しましょうね♡
夢の16回戦♡

ふふふ、そうだね……♡ 16回と言わず、20回、30回……♡
とにかく、これからもあたし達、いっぱいいっぱい、君とエッチするからね♡

異常性欲のあなたを、他の女の子達に関わらせるわけにはいけませんからね♡
私達だけで独占して遊ばせてもらいますね♡

これからも、あたし達オホ声性処理委員会の二人の制欲処理、よろしくね♡

よろしくお願いしますね♡

(END)